

現役お母さんからのメッセージです。(2017年度現在、小学三年生姉、年中弟)

ようこそ！舞鶴幼稚園へ♪

親子で遊ぼう会などでお話させていただいたお母さん方など、誰もが必ず口にした不安事項について、少しでもお役に立てたらなあと思ひ書きました。

【お弁当を毎日作れるか心配】

確かに、毎日毎朝、起きてご飯を作ってお洗濯…そんな状態でお弁当までも作れるのだろうかって不安になりますよね。毎日とは言えけれど、毎日ってわけでもないですよ。

週の初めはおにぎりデイ。これはお休み明けの疲れたお母さまたちにはありがたい日。お弁当箱におにぎりだけ入れて登園、先生とボランティアお母さん作の簡単な野菜おかずをみんなで食べます。(アレルギー対応もしています。)

水曜は午前保育なので、実際に作るのは火曜・木曜・金曜の3日です。おかずは子どもが好むものや、昨日の残りもの、スペースを埋めるのにミニトマトや一口チーズなど。わが子は残念ながら野菜嫌いなので、みかんやぶどうなどの果物で埋めています。(しかもパターン化しています)

お弁当の利点としては、わが子の食べる量でお弁当を作れるということです。体調がすぐれない時は軽めの内容で、誕生日などの特別な日にはがんばってのりなどに細工を入れたら子どもは大喜び。お弁当ひとつでも、親子のコミュニケーションツールになりますよ。

しかも、親子ともに慣れていない年少さんは、入園して始めのうちは午前保育です。しばらくすると朝のリズムがついてきます。何日か過ごしていると、なんとなく幼稚園のゆるさ(寛容性?)もわかってきて、「お弁当、こんなもんでいっか」と思うようになるかもしれません。

月に一度・週に一度のお弁当だと身構えてしまうけれど、毎日のお弁当なら慣れたらこっちのもの。なんとかなります！

【親子当園について】

家の近くを園バスが通るのを見かけると、やっぱり親子当園となると覚悟がいらいますよね。私はちびっこ時代を含めると自転車通園(雨の日はバス)歴6年になりますが、自転車で送迎しているといろいろ思うことがあります。

園に送った帰り道、その途中で様々な光景を見かけます。園バスを待つ間退屈だから歩道を走り回る子、「いってらっしゃい」と手を振った後、親2~3人で話し込む姿、たくさん子どもを乗せた園バスがまだグルグル走っているところ。こういう点を見ると、やはり親子通園がいいなと思います。

- ・バスの時間は決まっているから、日によっては出発直前にトイレに行きたくなった〜とか、ご飯食べ終わらんとか、そういうことだと親は焦ってイライラしませんか？親子のペースで登園できるのが最高です。
- ・バスの待機&乗車時間、行きで一時間・帰りで一時間、合わせて一日2時間費やします。その時間まいづるっこは遊べます。子どもの3年は大人の3年とは大きく違うと思います。
- ・先生やお友だち・お母さんとも顔を合わすので、何か相談や熱く語りたいた時は話せます。
- ・基本的に2km以上の遠距離からの登園の人、妊娠中、小さい弟妹がいる方は車で通園も可能です。また、お母さんのケガや病気など、事情がある場合は一時的に駐車も可能です。

私的な話ですが、私は自転車で川沿いを走ります。川で魚が跳ねたり、カモの親子や仲間たちが泳いでいたり、

雨の後は水が絵の具を入れたくらい濁っているのに、天気の際はキラキラ光っていたり…親子でいろいろ発見したり、自転車でも楽しく親子の時間を過ごせますよ。

【係のことが不安】

質問の中には次のようなものもありました。

- ・おにぎりデイのボランティアや親子で遊ぼう会スタッフは当番か(→当番ではありません)
- ・係は月一回くらい作業はあるのか

在園のお母さんは母の会の何らかの係に所属することになりますが、基本軸は「できる人ができることを」の精神なので、妊婦さん、下にお子さんがいる人、持病持ちの人、仕事をしている人には負担のかからぬよう、各係の皆さんが配慮し、仕事分担をしてくれています。私は妊娠中に入園しましたが、「しなくてもいい」レベルで参加させてもらい、多くのお母さんたちにお世話になりました。

さらに母の会とも関係なく、赤ちゃんが生まれる時期になると、クラスの先輩お母さんからは「生まれたら大変だろうから、お弁当作ろうか？」と声を掛けてくれた人も。その気持ちが大変うれしく、今でも感謝しています。また、雨の中バス停に下の子を抱っこしながら向かう途中、突然車が止まり「まいづるの方ですよ。一緒に乗りませんか」と声を掛けて乗せてくれたお母さんもいました。その時は学年も違うし、周囲のお母さんを見る余裕もなかったの、全く知らない人でした。ですが、「幼稚園で見かけたことがあるから」ということで声を掛けてくれたそうです。以後、その子が卒業するまでの一年間、雨の日は声を掛けてくれるようになり、お世話になりました。

これがまいづるママ！素敵な気持ちを持ったお母さん、たくさんいます。ひとりっこのお母さんはまだまだ心配かもしれません。ですが、大丈夫！幼稚園経験者や上の子がいる先輩お母さんが、係の仕事も導いてくれます。

長年受け継がれてきた思いやりのバトンパスにより、母の会は続いているのだと私は思います。子ども同様、母も成長する場と園では言われていますが、子どもや幼稚園に同じ思いを持ったお母さんが、同じ方向を向いて最大限に自分たちの力を発揮しているからだと思います。今こういった話をして、子どもの世話だけでも精一杯なのに大丈夫だろうかと思うかもしれません。「できる人ができることを」この一言に尽きます。

毎日登園して顔見知りもでき、係を通して他学年のお母さんとも交流できます。子どもは知らぬが母同士は気が合う。こういうパターンもあります。

その他心配や不安はつきないかもしれません。でも、幼稚園で過ごす子どもの生き生きとした輝く顔を見れば、「あ～やっぱりここでよかった」と思うはずです。入ってみてどんどん幼稚園のよさを実感できるのがまいづるです。「自由でのびのびしていい幼稚園なんだけど…」というお母さんたち、「…」には不安・心配があるのでしよう。それを払拭するにはちょっとした後押しが必要かと思ったので書いてみました。

どろんこをすること、はだしで過ごすこと、いろんなお母さんや素敵な先生と出会えること、こんな経験ができるのも今しかありません！ぜひ親子でまいづるライフを楽しんでください。